広報 しべつ

萌える海と大地

さわやか交流郷

今月の主な内容

■町保健福祉計画の概要

■直撃インタビー

“しべつ”ってどんなまち?!

■人　ズームアップ

［ごみの収集日と健康相談・検診日程は、P16にあります。］

ぼくらも地球に１本、緑を植えたよ！

5月20日、町植樹祭が行われ、標津・古多糠の町有地にシラカバなどの苗木3,200本を植えました。

この日は、北標津小中学校児童生徒も参加（写真）し、「豊かな緑を21世紀に」と、みんな仲良くていねいに１本１本植えていました。

1994年（平成６年）6月号 No. 328

21世紀の
超高齢化社会に備えて

健康で生きがいをもち安心して暮らせる社会に

町の保健福祉計画を作りました

わが国は、今や平均寿命八十年という世界一の長寿国になり、二十一世紀には、国民の約四人に一人が六十五歳以上という超高齢化社会になると予測されています。

国は、西暦二〇〇〇年までに取り組むべき保健福祉などの事業実施のため、十カ年計画を策定し強力な事業推進を図っています。

本町においても、西暦二〇〇〇年には、六十五歳以上のお年寄りの人口が平成二年度の国勢調査と比較し約二・一倍の九百九十一人（全体の十四・三％）になると予測されます。

高齢化社会の対応のため、昭和六十二年度に、全町民が生涯にわたり健康で生きがいを持って生活できるような、魅力と誇りに満ちた地域社会を創造するため「健康と福祉の村」整備構想を策定し、拠点エリアの整備と保健・医療・福祉サービスの充実を図っています。

高齢者の多くは、できるだけ住み慣れた地域で暮らすことを望んでおり、今後これを支援する在宅福祉サービスの充実が急務となっております。

このような中で、将来必要とされるサービスを提供するため、高齢者の実態調査、老人クラブ、寝たきり老人、介護者などの意見を取り入れ、国の計画に基づいて平成十一年を目標年度として計画を策定しました。

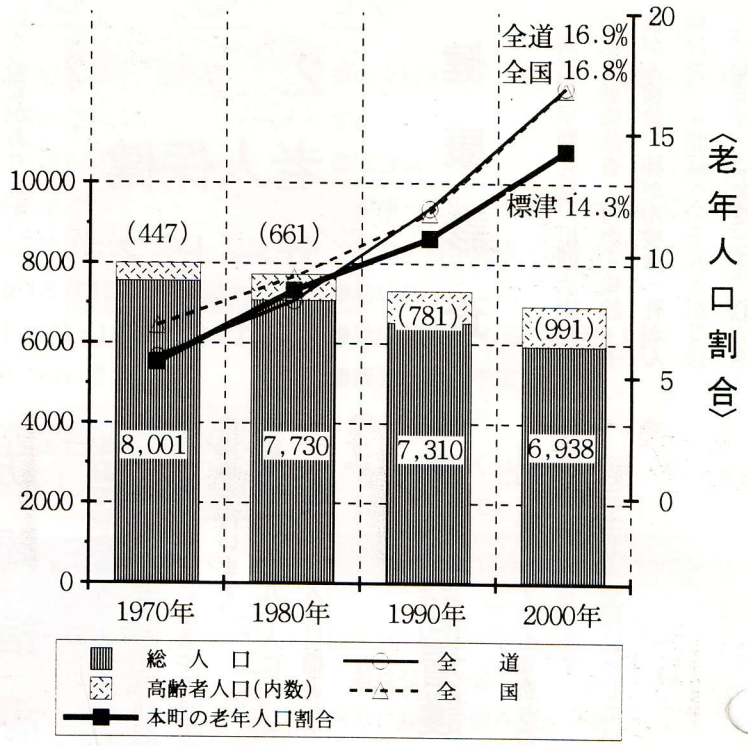
今後この計画の実現を図っていきます。以下、この計画の各種サービスの目標をお知らせします。

標津町の高齢者人口の推計

この表は、現在の当町の人口や高齢者の占める割合とその内訳を表し、将来（平成12年）どのように増えるかを予測したものです。

区　分	現　況	平成１２年
総　人　口	6,855人	6,938人
65才以上の人	865人 （全体の12.6%）	991人 （全体の14.3%）
寝たきり老人	59人	67人
痴ほう老人	5人	6人
衰弱老人	67人	76人

注）①現況の総人口及び65歳以上の人口は、国勢調査（平成２年）によるものです。
②「寝たきり」と「衰弱」の高齢者数は実態調査をもとに推計したものです。
③「痴ほう性」の高齢者数は国の出現率をもとに推計したものです。



1. 在宅福祉サービス

ホームヘルプサービス

日常生活に支障のあるお年寄りがいる家庭にホームヘルパーを派遣して、介護や家事のお手伝いをします。

現在十七人を対象に週一回から二回訪問しています。要介護老人（寝たきり・痴ほう）は週三回（三十五人）、衰弱老人は週一回（六十二人）を目標としています。

ショートステイ

寝たきりや痴ほう性などのお年寄りのいる家庭の人が一時的に介護できなくなった時に、お年寄りを特別養護老人ホームはまなす苑に短期間お預りします。

要介護老人は、年六回、衰弱老人は、年二回利用で延べ六十六日を目標としています。

◀寝たきり者も増えているデイサービス

デイサービス

身体の弱い、又は寝たきりで、家に閉じこもりがちな方をデイサービスセンターへバスで送迎し、入浴・食事・健康チェック・日常動作の訓練などのサービスを行います。

要介護老人は、週三回、衰弱老人は、週二回利用で延べ三千五百一人を目標としています。

入浴サービス

寝たきりでデイサービスセンターへ通所できない高齢者を対象に、在宅で入浴できるサービスを行っています。現在六人が週一回実施していますが、今後対象者が増加すると考えられます。

訪問サービス

訪問サービスは、独居高齢者に対し毎日乳酸飲料を届けながら訪問し、励ましや勇気づけなどの声かけを行い健康状態を確認するものです。

現在サービスを受けている方は、五十四人ですが今後高齢者の増加により対象者が増加すると考えられます。

電話サービス

訪問サービスを希望しない人と標津、川北市街以外の方に対しては、電話による安否確認や、悩みごと相談を行っています。

現在十人ですが今後高齢者の増加により対象者が増加すると考えられます。

日常生活用具の給付・貸与

高齢者の生活援護を行うため特殊寝台、特殊マット、入浴補助具などの給付、貸与を行っています。

緊急通報設備は、独居で病弱、身体の不自由な高齢者などの事故を未然に防止するために、隣人の協力のもと消防署と電話回線で結び緊急時に備えるものです。器具を無料設置し貸与しています。

現在五十台を設置していますが不足分について引き続き設置していく必要があります。

2. 老人保健サービス

健康診査

病気の早期発見、早期治療のため基本健康診査・胃がん検診・子宮がん検診・肺がん検診・乳がん検診で、年間延べ二千五人が受診しています。これを三千二百人を目標とします。

健康教育

年間九十九回行っていますが、百三十八回を目標とします。

機能訓練

できるだけ日常生活の動作を一人でできるように、手や足などの機能を回復させるための指導を平成四年度で延べ十四人行っていますが八十人を目標とします。

訪問指導

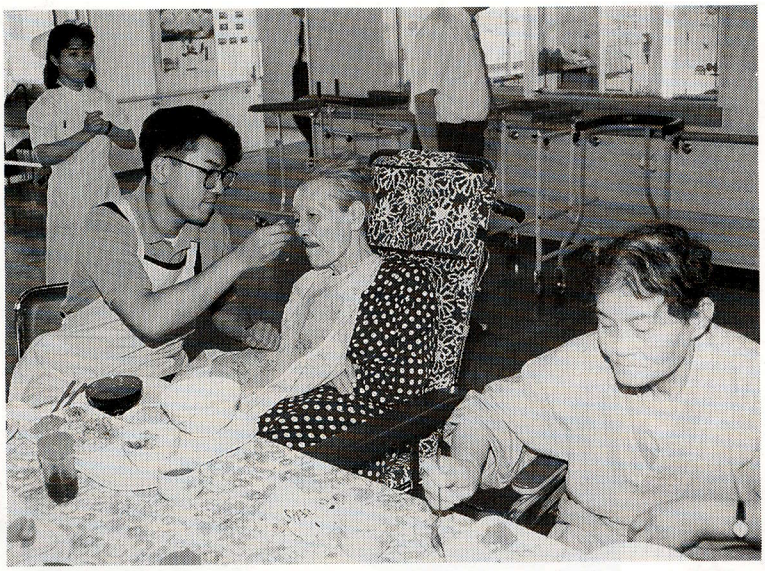
家庭で寝たきりなどの人のために、保健婦や栄養士などが訪問して、本人や家族に療養や看護方法の指導を行います。

現在延べ二百九十人に行っていますが四百十八人を目標としています。

老人訪問看護

看護を必要とするお年寄りの家庭を看護婦が訪問します。

二百三十七人を目標としています。



特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」

3. 施設サービス

保健福祉センター

健康づくりを推進するため、健康相談、健康教育、健康診査などの保健サービスを総合的に行うとともにお年寄りの各種相談、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの場として平成八年度に建設を予定しています。

在宅看護支援センター

保健福祉サービスや介護の相談、指導などを二十四時間体制で対応する施設として整備を図ります。

養護老人ホーム

入所者の必要に応じて道内の既存施設への措置をしていきます。

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームの町内の入所者は、現在はまなす苑で二十八人、他町の養護老人ホームへの入所者六人の計三十四人ですが、国は施設整備から在宅福祉サービスへ方針を転換しようとしています。在宅サービスの充実により二十五人を目標とします。

老人福祉施設

病状の回復期、安定期にあり、看護や医学的管理下の介護及びリハビリテーションなどの医療ケア、日常生活サービスを提供して自立を支援し家庭への復帰を目指す施設として圏域内での整備が必要です。

高齢者住宅

高齢あるいは身体機能の低下のため、独立して生活することが困難なお年寄りに、高齢者向け公営住宅の建設を進めます。

4. 人材の確保

デイサービス

今後要介護老人、衰弱老人の増加により現行の二人を六人にする必要があります。

5. サービス環境整備

看護婦

老人訪問看護を実施するため一人必要となります。

保健婦

保健業務の増加により現行の四人を五人にする必要があります。

栄養士

訪問栄養指導の充実を図るため現行の一人を二人にする必要があります。

在宅介護支援センター職員

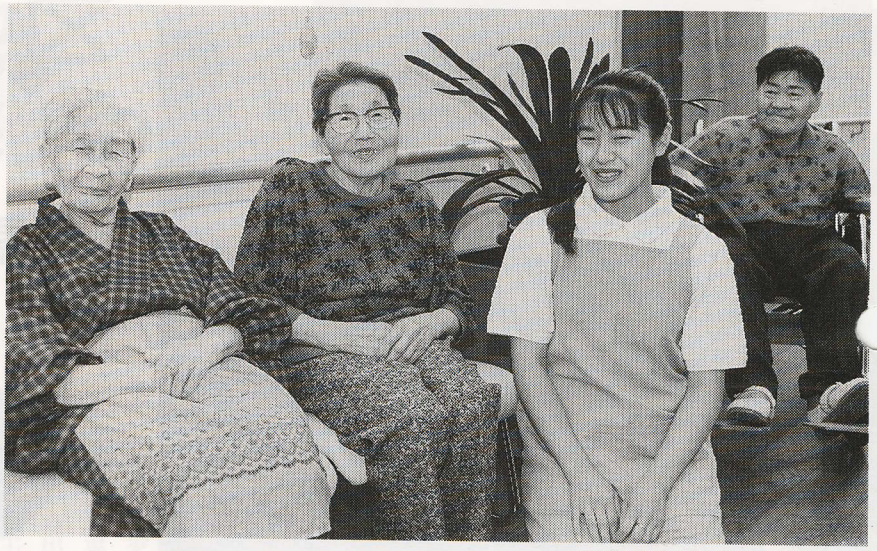
センター設置に伴い、保健婦や介護福祉士など各一人が必要になります。

相談体制の強化

サービスの相談からアフターケアにいたる長期的な対応が必要なため、職員の専門化を図り相談体制の強化に努めます。

情報提供の確立

各種サービス・手当などの周知を徹底するため冊子などを各戸に配布するとともに、民生委員・老人相談員などの協力を得て情報提供に努めます。



利用手続きの改善

在宅サービスの手続き簡素化を図ります。サービスが緊急に受けられるよう「利用登録制度」を実施します。

6. 保健福祉の環境整備

保健・医療・福祉の連携により高齢者のニーズに応える体制を確立するとともに、社会福祉協議会・ボランティア団体などの活動に社会福祉基金を有効に活用し支援する必要があります。

7. 社会参加の生きがい対策

高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることのできる長寿社会を目指すため、レクリエーション、趣味活動、高齢者スポーツ大会、就業の場を確保するシルバー勤労会などの従来からの事業をより充実する必要があります。

今後は、健康な高齢者が、高齢者のために行うボランティア活動の強化が必要となります。

高齢者の社会参加活動を促進し、住みやすい町づくりをすすめる必要があります。

ってどんなまち?!

知っているようで意外と知らない 自分たちのまち

◆今回インタビューに答えてくれたのは…

『冨田　誠』さんです

＝鳩ケ丘町＝

プロフィール

- ●生まれ／愛媛県
- ●前住所／岡山県
- ●平成５年３月、標津町民となる
- ●勤務先／陸上自衛隊

  役職 ― 第302沿岸監視隊長兼標津分屯地司令 ２等陸佐

- ●年齢／40歳
- ●経歴など

  1976年　防衛大学卒業後、自衛官になる。
  現在、奥さんと子供３人の５人家族。
  趣味はスポーツ。

――〝しべつ〟に来て、最初の印象は？

集落がまとまっていて、人口の割りには、まちっぽい〝まち〟だと思いました。

皆さん、親しみやすいですね

――実際に住んでみて、どうですか？

しべつの人は皆さん親しみやすい方ばかりですね。

ゴルフやバトミントンなどのスポーツを通して、町民の方々と気軽にお付き合いさせてもらっています。

体育施設は整備されている。反面、利用は？

――〝しべつ〟は「スポーツのまち」を宣言していますが、スポーツに関して何かご意見は？

私もスポーツが大好きです。スポーツのまちらしく、体育施設は整備されていますね。各種スポーツ少年団もがんばっている。

ただ思うことは、施設が意外と有効に使われていないのではないか。ほかのまちでよく耳にするが、体育館などの場所の確保は、奪い合いと聞いています。

もっと近所の方など誘って、気軽にスポーツを楽しんではどうか。

冬まつりは最高でした！

――イベントについてどう思いますか？

今年、川北の冬まつりに行きましたが、最高でしたね。司会者もうまかったですよ。町民挙げての参加、協力と盛り上がりがありました。

夏のイベントは一つにまとめて！

直撃インタビュー ④

新しく町民になった方に聞きました!

『しべつ』

外から見た〝しべつ〟は…?

夏のイベントもいろいろと単発的にありますが、分散させないで何日か、まとめて実施（例えば一週間とか）してはどうか。そうすれば、協力する側も楽だろうし、もっと盛り上がるはずです。

また、イベントを実施するに当っては、学校などの各種行事と重ならないように調整してほしいと思います。せっかく担当者が苦労しているのだから…。

通過点にとどまらず、宿泊させる観光努力を

――観光に関してはどうですか?

道東には大自然があり、観光客も数多く訪れています。

しべつは、現在観光の通過地点となっているようですが、目指すところは「人を泊まらせる」ことになると思う。通過地点であきらめきっているのか?。せっかく人が、たくさん来ているのだから、もったいないと思いますよ。

サーモンパークの案内標示わかりづらい?!

――サーモンパークはどうですか?

サーモンパークは、実にすばらしい施設です。よくお客さんを案内して、喜ばれています。

ただ、遠くから来た人には場所がわかりづらいですね。案内標示板も小さいものが、あちらこちらにありますが、それがかえってわかりづらくしているように思います。もっと大きな標示板を何カ所かに設置すべきでは?そうすれば、たまたま通りかかった観光客も目を引いて、足を運ぶことになると思うが。

またサーモン科学館の資料の多さには、びっくりしましたよ。欲を言えば子供は魚に「触れたい、取りたい」なので、これが満たされたらと思うのですが（漁業権の問題もあり難しいが）。

いずれにせよこんなにすばらしい施設なのだから、もっともっとPRすべきですね。

笑顔で答えてくれた冨田さん

もっと〝しべつ〟のサケを消費者に食べてもらう工夫を

――サケにこだわった〝まちづくり〟については?

「サケのまち」とは聞いていたが、漁獲高日本一（一昨年まで）とは知らなかった。

サケの町なのだから、まず標津のサケをとにかく食べてもらわなくては。都会では新巻ザケ一本で一万円もする。郵便局などと連携して「安くて、うまい」サケを消費者にPRを。それもただ切って焼いて食べれるようにパックで加工したものがいい。都会では一本ごとだと料理できない人が多いので。

趣味を楽しめる文化施設があれば

――〝しべつ〟に望むことは?

体育施設に比べて、文化施設の整備が遅れているように思います。何人か集まって気軽に趣味を楽しめるような施設があればいいですね。

それから、子供たちが自由に遊べる場所が市街地にほしいですね。

まちづくりはポイントをどこにおくかが重要

たとえば、しべつ特有の風の強さを利用（悪い気象条件を逆手にとる）して、風車をつくり、この動力を何かに利用してはどうか。

〝しべつ〟のまちは潜在能力があるので、観光や産業にしても、どこにポイントをおいて進めるかが重要であり、やり方次第ですばらしいまちになると思います。

――ありがとうございました。

このコーナーの登場人物を募集しています。

自薦他薦を問いません。

―連絡先―

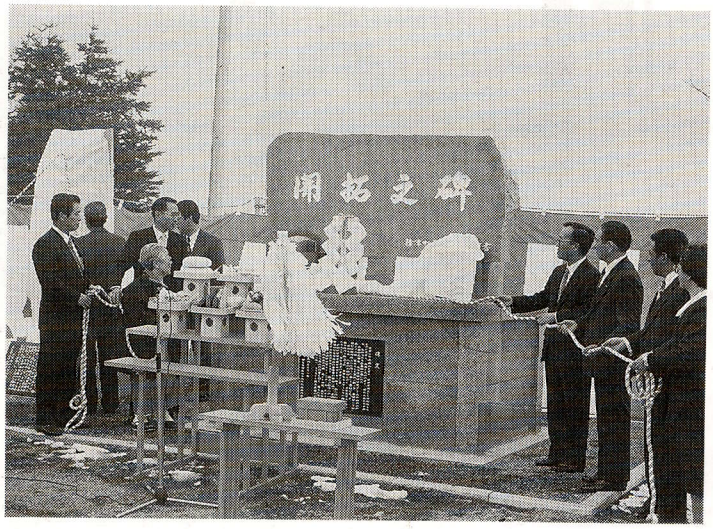
役場広報統計係

☎2-2131内線110

茶志骨地区

開基70周年を祝う

先人の苦労しのび 記念式典



開基七十周年記念碑の除幕式の模様

町内の茶志骨地区が開基七十周年を迎え、五月一日に記念碑の除幕と式典が茶志骨生活改善センターを会場に行われ、出席者は先人の苦労をしのび、今後の同地区の発展を誓い合いました。

同地区は、大正十三年に北海道補助移民として二十四戸の入植からはじまり、昭和はじめの凶作、第二次大戦を経て、第二次農業構造改善事業で大規模酪農へ移りかわり、現在の酪農地帯を築きました。

この日の式典には、地区の町民や町、町議会、農協関係者ら約百人が出席。記念事業を主催した実行委員会の竹野武美委員長は、先人の労をしのび「二十一世紀に向け、より豊かな郷土建設に努める」と述べ、このあと、大正十三年に最初の入植者としてこの地の開拓に従事した渡辺キセさん（八九才）をはじめ、同地区の発展に貢献した功労者に感謝状が贈られました。

式典に続いて、祝賀会が行われ、現在の同地区を築いた人々に感謝していました。

豊かな緑を21世紀に！

▶一本一本、ていねいにシラカバを植える児童ら

町植樹祭

シラカバなど3,200本植樹

児童生徒、町民ら350人が参加

天候に恵まれた五月二十日、町と標津営林署主催の町植樹祭が標津地区と古多糠地区の町有地で行われました。

参加したのは約三百五十人。標津地区では北標津小中学校や標津中学校の児童生徒、一般町民らがシラカバ二千二百本を、古多糠地区は漁協婦人部と役場職員がアカエゾマツ千本を植えました。

また、漁協婦人部と役場職員は八十八年から植樹祭に参加しており、同地区に毎年植樹しています。

参加した児童生徒らは、スコップで穴を掘り、苗木をていねいに一本一本、植えていました。

自然保護に尽力 社会貢献賞受賞

▲表彰状を手に喜びの田村さん（右）と清野根室支庁長

田村 豊さん

昭和四十八年から二十一年間にわたり道鳥獣保護員を務め、今年三月末で離任した田村豊さん（七二才・南古多糠）が道社会貢献賞（野生鳥獣保護功労）を受賞し、このほど根室支庁で伝達式が行われました。

田村さんは、酪農業の傍ら町内一円の動植物の保護はもとより、公共施設の破損状況の監視活動など、広い範囲にわたって自然環境の保全に尽力されました。

伝達式では清野根室支庁長が田村さんに表彰状と記念品を手渡した後、長年にわたる自然とのかかわりについて懇談し、労をねぎらいました。

「標津化成㈱」が地鎮祭
魚箱など発泡スチロール箱を生産
10月に操業スタートに向け

工事の安全を願い鍬入れをする宮田社長

大手総合化学メーカー「鐘淵（かねがふち）化学工業（本社・大阪、舘糾＝たち・ただす＝代表取締役社長、資本金三百億円）が町内に設立した現地法人「標津化成㈱」（宮田勇代表取締役社長）の建設する工場、地鎮祭が、四月二十五日桜木町の建設現場で行われました。

鐘淵化学工業は、すでに町内に発泡スチロール箱の配送基地を設け、近隣へ水産物などの容器の販売業務に当っています。しかし、製造工場が恵庭市森町で、ここから輸送しているため、コスト低減と道東への販路拡大を目指し、道東地区の拠点として、現地法人を設立、工場を建設することになりました。

工場の規模は、鉄骨造り平屋建て千三百平方メートル。社員は当初十人で、このうち九人は町内や近郊からの地元採用となり、十月に操業をスタートする予定です。

地鎮祭には、標津化成の宮田社長をはじめ、鐘淵化学工業関係者、小田桐町長や荒谷町議会議長、建設に当る鴻池組関係者ら二十五人が出席し、鍬入れや玉串奉典を行い、工事の安全を祈願しました。

式典後にあいさつに立った宮田社長は「道内三カ所目の生産拠点となる工場建設は長年の願いでした。より良い製品を早く提供するとともに地域に愛され、ともに発展するよう努める」と述べ、小田桐町長も「工場建設は町民にとっても大きな喜び、さらに社員についても地元に配慮していただき感謝する」とあいさつしていました。

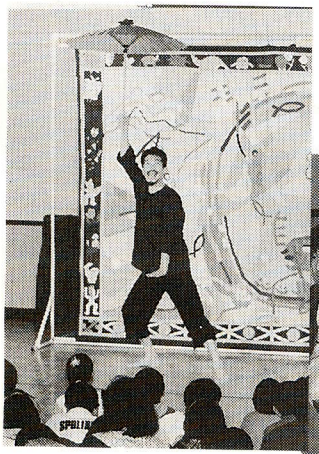
薫別で一人芝居
「鮭の子さすけ」公演
―地域が一体となり盛り上がる―
標津おやこ劇場

昨年発足した標津おやこ劇場（椎久真理子代表）主催の一人芝居「鮭の子さすけ」公演が、五月十日午後六時から、薫別集落センターで開かれ、親子連れなど約百人が会場を訪れました。

サケを題材にした演劇だけに、サケの帰る川のすぐそばの会場で開こうと、あえて市街地から離れた同センターを会場にしました。

同劇場の会員を中心に、薫別の地域を挙げて準備を進め、当日も駐車場は同地区の青年部、受付・司会は同小中学校の児童生徒、また公演前には薫別のおじいちゃん、おばあちゃんからの「鮭の昔ばなし」で三船義雄さんらも登場するなど、子供からお年寄りまでが一体となっての熱の入れよう。

会場を訪れた子供たちは、この辺では珍しい生の迫力ある芝居にくぎづけ。また、この後、サーモン科学館の市村学芸員から「鮭のおはなし」もあり、興味深げに聞き入っていました。



▲伊藤文悟氏演じる芝居（左上）にくぎづけの子供たち

同劇場の椎久代表は、「今回の公演は本当の意味での〝おやこ劇場〟となった。今後もほかの地区でも公演を開くので、親子、おじいちゃん、おばあちゃんらと一緒に来てほしい」と話しています。

〈親子劇場次回公演〉

劇団さっぽろ「むかしものがたり」七月十七日（日）開演午後二時～川北公民館

※お問い合わせは、藤本さん（☎2―2540）または、吉田さん（☎5―2205）まで。

「おやこ劇場」ってなに？

子供向けの演劇や人形劇、コンサートなどの誘致を目的とした会。子供たちが文化を通して心豊かに育ってほしいと言う願いから、一九六六年に九州福岡県のお母さんたちの手によってはじめられ、現在は約五十三万人の会員を抱える全国組織です。

北海道では三十六市町、四十七カ所の地域に〝劇場〟があり、各地で積極的な活動を展開しています。

まちの話題

姉妹館交流深める

—サーモン科学館—

カナダのふ化場長ら来町

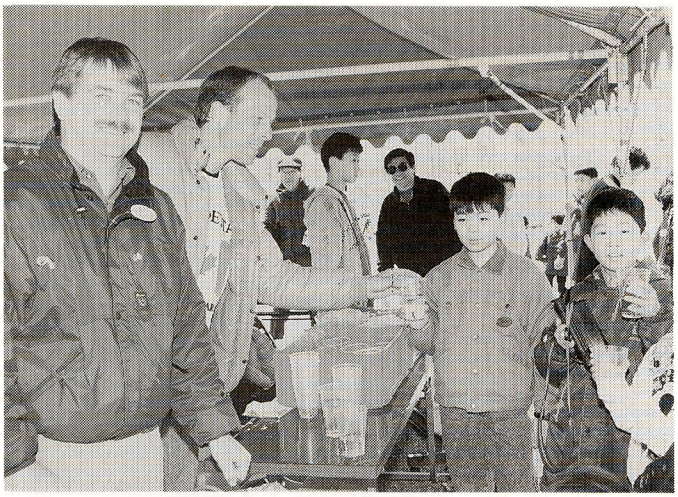
標津サーモン科学館と姉妹館提携を結んでいるカナダのキャピラノふ化場のロビン・ディクソン場長と、ナチナット川ふ化場のロバート・ブロアー場長が四月二十一日来町しました。

両氏は日本の人工ふ化技術を学ぶことと、日本文化に触れることを目的に来町したもので、周辺地域のふ化場の視察や同科学館での研修を五月六日まで行いました。

また、町や同科学館職員、メイプルクラブのメンバーなどが出席して両氏の歓迎レセプションも行われ、互いに交流を深めました。

研修を終えたディクソン氏は「心を開いてすばらしいもてなしをしてもらったことに感謝する。カナダと標津の人々の交流が続くことを願っている」と、ブロアー氏は「サーモン科学館は予想以上の施設で、今後の発展を願っている。また、多くの勉強や経験ができた。皆さんに感謝する」とそれぞれ感謝を表していました。

両氏は五月七日に空路札幌へ向かい、札幌で各施設を見学し、十一日に帰国の途につきました。



▶五月三日、サケの稚魚体験放流でお手伝いするディクソン場長（左）とブロアー場長

サケ稚魚体験放流

サーモン科学館

987人が参加

▶稚魚の放流を体験する子供たち

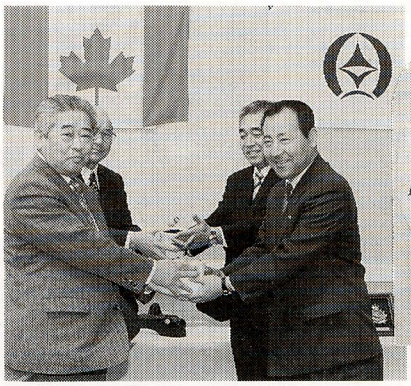
ゴールデンウィーク中の五月三日、四日の二日間、サーモン科学館では、サーモンパーク内の小川で同科学館でふ化させたシロザケの稚魚の体験放流を行い、同科学館を訪れた家族連れなどに人気を集めました。

サケの稚魚の放流は、生きものとしてのサケについて、子供たちに認識を深めてもらおうと、毎年五月五日に行っていましたが、今年はより多くの人に体験してもらおうと、五月三日から五日までの三日間に延長（今回は五日が悪天候のため中止）しました。

稚魚は、同科学館で今年二月から三月にかけてふ化した稚魚で、約一万匹用意し、二日間で九百八十七人が訪れ、一匹から三匹入ったコップを職員から受け取り、無事な成長を祈りながら放流しました。

カエデの苗木寄贈

～カナディアン航空～



▲贈られたカエデ

▲山口助役と原田館長にカエデの苗木を手渡す青田同航空課長ら

四月二十二日、カナディアン航空から町に、カナダの国の木「サトウカエデ」の苗木百本が贈られました。

このカエデは、カナダを訪問したことのある町民らで構成するカナダとの交流組織「メイプルクラブ」（遠藤雅博会長）が仲介し、交流の記念にと同航空から贈られたものです。

この日、サーモン科学館前で贈呈式が行われ、青田雅史同航空課長と代理店の三ツ輪航空サービスの佐々木武常務から、山口助役と原田同科学館長に苗木が手渡されました。

贈られた苗木はまだ小さいため、同クラブ会員が育てたあと、町内の街路やサーモンパーク内に植えられます。

火遊びしません!!

幼年消防クラブ発足
標津幼稚園

▶発会式で、はっぴ姿の元気な同クラブ員

幼児に対し火遊びの防止や消防の仕事に対する理解を深めさせ、幼児のころから防火意識を植えつけることを目的に、幼年消防クラブが標津幼稚園（三戸俊雄園長）にこのほど誕生しました。

クラブ員は同幼稚園児五十五人全員で、根室北部消防組合管内では中標津、別海に次いで三番目。

四月二十六日、同幼稚園での発会式には、町教育委員会や消防などの関係者が出席、大内慶治消防長から火の用心のはっぴが贈られ、団員となった園児全員で「お父さん、お母さんたちの言いつけを守り、絶対火遊びはしません」と元気よく誓いの言葉を述べました。

同消防クラブは、今後、町内での防火フェスティバルや秋の火災予防運動などにも参加して、町民に火の用心を訴えるなどの活動に取り組んでいきます。

フレッシュさん

伊藤トモ子さん（20）
JA標津勤務

「スポーツ大好きなんです」

▷昭和49年美幌町生まれ。O型、おひつじ座。
▷中標津高校卒業後、昨年4月に同JAに。
▷仕事は購買部資材課で、主に経理事務や電話の応対役。
▷高校ではバスケットボール部のキャプテンとして活躍。

「スポーツは大好きなんです。今は週に一度、バレーボールやバトミントンで汗を流しています」「これからも仕事にスポーツに、がんばります」と、明るく、さわやかな笑顔を見せてくれました。

ロシア語会話教室

—LESSON 2—

ズドラースヴィチェ（こんにちは）！
今回はロシア人訪問団来町の時に使えそうな言葉を選んでみました。

はじめまして	オーチン　プリヤートナ Очень приятно.
ようこそ	ドーブラ　パジャーラバーチ Добро пожаловать.
どうぞ	パジャールスタ пожалуйста.
はい	ダー Да.
いいえ	ニェット Нет.
ありがとう	スパシーバ Спасибо.

スポーツ花盛り

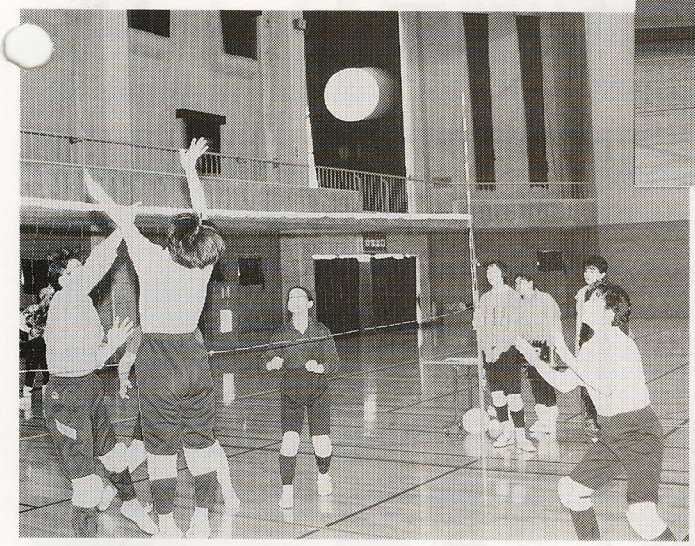
▲激しいラリー合戦

5/22 春季町民卓球大会
（川北公民館）

5/15 町赤胴争奪少年剣道大会
（鳩ケ丘体育館）

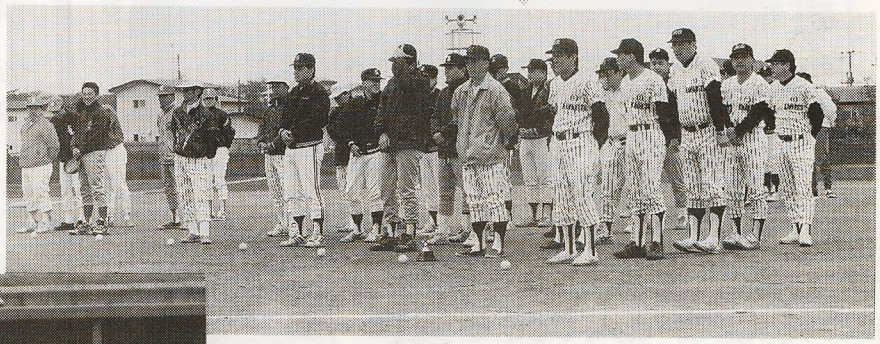
▲「メーン」と気合いも鋭く

5/15 町民ソフトバレーボール大会
（総合体育館）

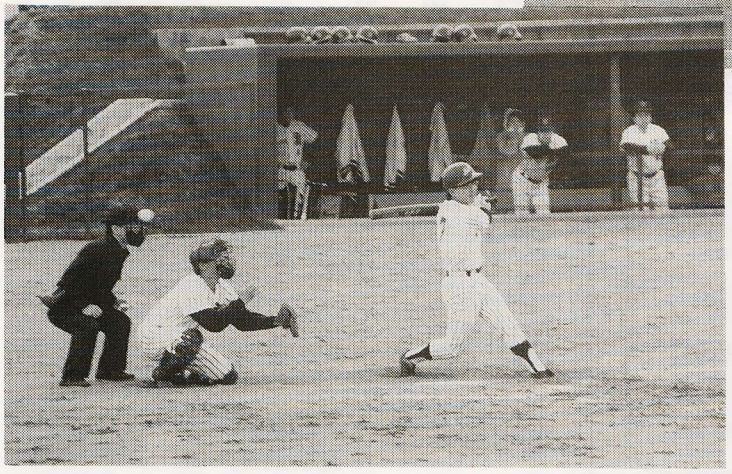


▲お母さん方もハッスルプレーで熱戦展開

5/22 漁協組合長杯
グランド開き野球大会
（町営球場）

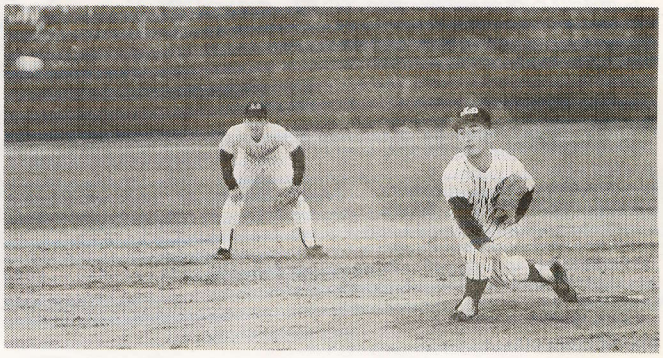


▲８チームが参加



▲バッター打った！ ボールはどこに?!

▼ピッチャー投げた！



人 ズームアップ

開基70周年 茶志骨地区 “草分けの人”

渡辺キセさん（87）

＝茶志骨＝

『大正十三年十九の春よ もはや早いもんで 七十年経ったのしべつ山茶（やまちゃ）に根がおりた』

〈作・渡辺キセ〉

町内の茶志骨地区が、このたび、開基七十周年を迎えました。

この地区の草分けの人が渡辺キセさん。明治三十九年に青森県で生まれ、十七歳でご主人の故義蔵さんと結婚。十九才の時、同地区に二人で入植しました。

「だれから聞いたか忘れたが、土地を十町歩くれるから、農業をやりに北海道に来ないか」と言われ青森から出てきた渡辺さん夫婦。「当時の茶志骨は本当に何もなく、見渡す限り一面原野で、大変なところに来てしまった」と当時を振り返る。

十町歩の土地をもらったまでは良かったが、畑をつくるのは言葉で言い表せないほど大変だったという。

大木を次々と伐っては馬にプラウ（畑を耕す道具）を引っ張らせる。馬の口取り（誘導）は、キセさんの役目。「馬のもくひをしっかりもって引っ張るのは大変だったよ。言うことを聞かなくて、すぐ違う場所に行ってしまうんだもの」と苦労した昔を思い出す。

▲開拓70周年を記念して建てられた「開拓の碑」を囲んで記念撮影する茶志骨地区の皆さん　＝5月1日＝

とにかく二人で働いた。一日に食事を五回もとった時もあった。「自分の旦那を褒める訳でないがとにかく働き者だったよ。人の倍稼いだ人だった。私は小さい時から体が丈夫でなかったので、あまり無理ができなかったんです。うちの人に『おまえは何にもならない』とよく怒られたものだった」。

今から思うと七十年は、あっという間だったという。「早いもんだね。もうこんなになったのか」。そこでキセさんが作った唄があるというので、聞かせてもらった。

「ハァ～ 大正十三年十九の春よ～ もはや早いもんで七十年経ったの～ しべつ山茶に根がおりた～ アラ、キタコラサッサ、ドッコイサッサ」。

最後にしべつに来て良かったかいと尋ねると「まあ、良かったべな。内地にいれば、こんな広い土地は当らなかったもんな」「財産はこの苦労した土地だけだよ」と笑って話すキセさん。

「今の若い人達は幸せだな。ちゃんとした畑を親からもらって」。この言葉には、当時の人並み知れぬ開拓魂がキセさんの胸の奥に今も深く眠り続けている。

いかがですかあなたの健康

今月の担当は「中野歯科衛生士」です。

保健指導班の
☎は2-2131
内線129・131・138
です。

六月四日から十日までの一週間は「歯の衛生週間」です。

この週間は昭和三十三年から始まり、今年で三十六回目となりました。

今年の標語は昨年と同じく、「長生きは丈夫な歯から歯ぐきから」です。

平均寿命が八十歳となった今日、二十本の健康な歯が残っていれば噛むことに支障はないということで、平成六年より「８０２０（ハチマルニイマル）運動」が提言されました。

ところが現代の日本人は五十歳で二十本、六十歳で十六本、七十歳で八本、八十歳で四本というのが現状です。

八十歳で二十本以上残すためには、その年齢が近くなってから歯みがきや食生活に気をつけるのではなくて、小さい頃からの歯みがきの習慣や正しい食生活を身につけていくことが大切です。好きなものだけ好きな時に食べては栄養のバランスも偏り、歯にも良くありません。

野菜は噛むことによって、歯をきれいにしてくれます。魚や牛乳はカルシウムによって歯を強くしてくれます。ちょっとした心がけで「８０２０」の達成は可能です。

お口の中の病気はどうしても軽視されがちですが、悪化すると全身にも影響を及ぼします。「治療する」こともちろん大切ですが、「予防する」ということはもっと大切です。

歯の衛生週間に歯科医院で検診を受けてみるのはどうでしょうか？。検診を受けた時に正しい歯みがきの仕方を習ってみるのも良いかもしれませんね。

役場に歯ブラシ持参で来ていただければ私が親切、ていねいにご指導します。お気軽にどうぞ。

一生、自分の歯で健康を噛(か)みしめよう！

歯槽膿漏を予防する8つのポイント

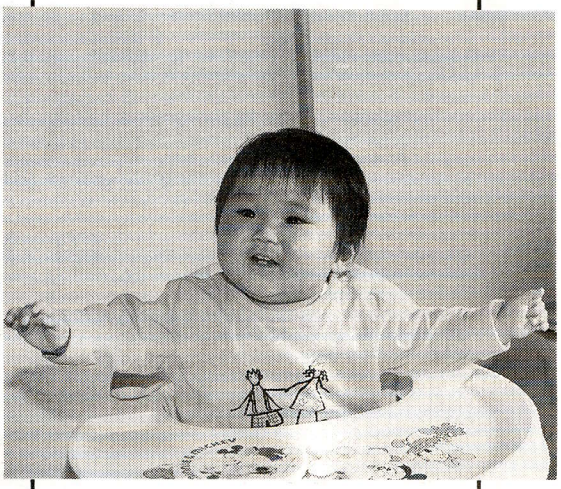
歯槽膿漏は、心がけ次第で食い止められます。歯科検診とともに、毎日以下のことに注意を。

1. 食べたら磨く習慣をつける
2. 外出先や磨く場所がないときは、せめてうがいをする
3. 定期的に歯医者さんで歯石をとってもらう
4. 歯ぎしりの原因となるストレスをためない
5. バランスのとれた栄養を心がけ、とくに歯垢をつくりやすくする糖分をひかえる
6. 歯ぎしりのひどい人は早めに治す
7. 歯と歯ぐきを鍛えるため、よく噛んでゆっくり食べる
8. 歯ぐきのマッサージなどで、歯ぐきの血行をよくする

吉田（賢治）さんちの 実里（みのり）ちゃん

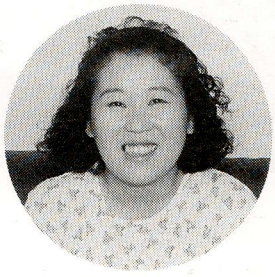
（H5.6.11生）

伊茶仁 98



☆生まれた時の身長・体重は
身長／44.6cm
体重／2,202g

☆今ではこんなに大きく
なりました。
身長／70.0cm
体重／7.5kg



お母さんからひと言

「予定日より１カ月も早く生まれました実里は、小さくてとても心配でした。

今は元気で順調に育っているのでお母さんも一安心。何よりも健康が一番。素直でやさしい子に育ってほしいですね。」

情報BOX

「高等学校開放講座」を開催します。

英語検定講座

■と　き　6月20日～10月31日・毎週金曜日・18時30分～20時
■ところ　標津高校　視聴覚教室
■内　容　英語検定3級・準2級合格を目指す
■対　象　一般成人
■参加料　無料
■講　師　標津高校英語科教諭

コンピュータ講座

■と　き　月日同上・毎週月曜日・19時～20時30分
■ところ　同校物理地学教室
■内　容　BASIC.LOTUS1－2－3.DATA.BASE
■対　象　一般成人、高校生（24人まで）
■参加料　テキスト・フロッピーディスク代
■講　師　藤田・三井・是永教諭

ポー川湿原の四季

■と　き　月日同上・第3水曜日・19時～20時30分
■ところ　同校視聴覚室
■内　容　湿原の植生紹介、観察会
■対　象　一般成人
■参加料　無料（要　野外活動保険）
■講　師　金澤教諭

※申込みは標津高校（☎2－2364・稗貫教諭）へ。期限は6月15日まで。

開講式は6月20日・18時30分より、同校多目的教室で行います。

生ゴミ処理容器購入の助成をします。

“ゴミの減量化にご協力を”

町では昨年に引き続き平成六年度も、ゴミの減量化を図るため「生ゴミ処理容器」の購入についての助成を行います。

購入希望の方は役場住民課、又は川北公民館で助成金の申請を行い、購入助成券の交付を受けて次の商店で購入願います。

●取扱販売店
標津…金田一商事・てつのや疋田商店
川北…合田商店・山本商店
●助成額　2,500円
●助成数量　50個（1世帯1個）
●販売価格（予定）
中／5,800円・大／9,900円
なお、詳しくは役場住民課（☎内線130番）まで。

絵本の読み聞かせをしています。

おはなしの会「スイミー」では、子供たちに絵本の読み聞かせをしています。

お母さん、お父さん、お友達と遊びに来てください。お待ちしています。

■と　き
〔幼児、小学生対象〕毎週土曜日・14時～
〔乳幼児対象〕第3木曜日・10時30分～
■ところ　中央公民館図書室　絵本コーナー

※お問い合わせ先は同事務局の渡部（☎2－2180）まで。

戸籍の窓口から（4月16日～5月15日届出分）

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
岡部　優希（ゆうき）ちゃん	若草町	岡部雅治
堀越　麻希（まき）ちゃん	若草町	堀越芳二
渡部　公喜（こうき）くん	伊茶仁	渡部秀人
椎久　直人（なおと）くん	望ケ丘町	椎久弘隆

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
大谷ウメさん	桜木町	80歳
鈴木　進さん	望ケ丘町	74歳
久保静江さん	寿町	83歳
我妻武志さん	弥栄町	61歳
四戸豊彦さん	東浜町	65歳
久保安晴さん	寿町	84歳

人口のうごき

（平成6年5月1日現在）
（　）は前月比

世帯数　2,316世帯（＋32）
人　口　6,854人　（＋44）
男　3,319人　（＋18）
女　3,535人　（＋26）

町内の交通事故

5月
（　）は累計

人身事故　0件（0件）
負傷者　0人（10人）
死亡者　0人（2人）
物損事故　7件（71件）

死亡事故ゼロの日
94日（5/15現在）

寄付ありがとうございました。

●町社会福祉協議会に――梅田龍英さん　久保安晴さん・四戸タケさん（香典返しをやめて）
聖友標津支所・谷内基さん（活動資金として）
●中央公民館図書室に――菊地博男さん（図書）
●はまなす苑に――片岡恭子さん・佐藤強さん・韮澤喜代司さん・吉田智さん（共同でカラーテレビ）、㈱和光（ティッシュペーパー）

情報BOX

火入れの注意点！

①焼却炉以外でゴミ焼きを行う場合は、「火災と紛らわしい煙などを発する恐れのある行為」としてその旨を消防署長に届けなければなりません。

②風が強い日や異常乾燥注意報が発令されている時には、届出をしていても、火入れを延期するなどの措置をとってください。

③多量のゴミを焼却しなければならない場合には、容易に消火できるだけの人員を確保のうえ、日時を分けて行うなどの措置をとってください。

④焼却炉については、基準に適合されたものを使用してください。

※以上の事に留意され、町民一人ひとりが火災予防を心がけ火災のない町にしましょう！。

―標津消防署―

★スポーツ情報★ 6月の行事

天皇杯野球大会町内予選会
▷5日（9時～町営球場）

国体成人1部野球支部大会
▷12日（9時～町営球場ほか）

子供水泳教室
▷14・16・21・23・28・30日（19時～町屋内プール）

高松宮杯2部野球大会町内予選会
▷19日（9時～町営球場）

町内中体連大会
〈野球・バレーボール・卓球〉
▷23日（8時30分～総合体育館）

町民300歳ソフトボール大会
▷26日（8時30分～町営球場ほか）

全道少年野球支部大会
▷26日（9時～町営球場）

健康相談・健診日程表

〈6月分〉

乳幼児

■乳幼児相談
21日（火）〈標津〉
〔9時30分～10時30分／農改センター〕
※午前の部　10・13カ月児、午後の部　4・7カ月児対象
23日（木）〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北公民館〕
※4・7・10・13カ月児対象

■乳児健診
27日（月）
〔13時～13時30分／役場2F会議室〕

■1歳6カ月児健診
28日（火）
〔9時～10時／役場2F会議室〕

■3歳児健診
29日（水）
〔13時～14時／役場2F会議室〕

■歯ピカ教室
13日（月）・14日（火）
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／農改センター〕

■離乳食教室
17日（金）
〔13時30分～／農改センター〕

成人

■糖尿病健康相談（予約制）
22日（水）
〔10時～16時／役場相談室〕

■一般健康相談
6日（月）
〔13時30分～15時／茶志骨パイロット会館〕
23日（木）
〔10時～11時30分／川北公民館〕
24日（金）
〔13時～16時／役場相談室〕

※お問い合わせ・ご相談は役場福祉保健課（☎内線129・131・138）まで、お気軽にどうぞ。

※農改センター…農村環境改善センターの略

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	不燃物収集日〈無料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	6月9日・6月23日 7月7日　(木)
火・金	本町・鳩ケ丘町・双葉町・望ケ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	6月10日・6月24日 7月8日　(金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	6月8日・6月22日 7月6日　(水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

情報BOX

役場の☎は
2-2131(代表)

6月は児童手当現況届の申請月です

3歳未満の児童を養育している人で収入が一定の額未満の場合に児童手当が支給されます。

この児童手当をはじめて受けようとする場合は児童手当認定請求を、すでに請求している人は現況届を提出しなければなりません。

受給資格があっても届出がないと受給できなくなる場合がありますので、お早めに提出してください（役場関係・学校関係・営林署・自衛隊などに勤務されている方は届出の必要がありませんが、各事業所で行ってください）。

なお、手続きには印鑑と健康保険証及び金融機関（郵便局を除く）の口座が必要ですので忘れずに持参してください。

※詳しくは役場福祉保健課（☎内線137番）まで。

運転免許証の更新手続きが変りました

道路交通法の改正（平成6年5月10日施行）により、運転免許証の更新方法が変りました。

■運転免許更新情報が届きます。

運転免許証の更新時期を迎える方に対し、更新手続期限（誕生日）の40日前ほどに「運転免許更新情報」が送付されます。

その内容は――①更新手続きができる期間　②更新申請の優良区分・新有効年数・講習区分　③更新に必要な手数料　④更新手続きができる場所　⑤運転免許証番号　⑥更新の受付時間　⑦更新手続きに必要なもの――などが記載されています。

＜注意＞

1. この情報が届くのは、更新手続期限（誕生日）が平成6年6月10日以降の方からとなります。
2. この情報は、運転免許証に記載されている住所に送られます。住所の変更手続きは、必ずしてください。

■講習の区分と更新・講習手数料は―。

講習及び手数料は、次のように区分されます。

①優良運転者……2,900円
　内訳（更新手数料2,200円／講習手数料　700円）

②一般運転者……3,900円
　内訳（更新手数料2,200円／講習手数料1,700円）

＜注意＞

1. 更新申請の際、更新手数料と講習手数料は同時に納めることになります。
2. この講習手数料を納めた方だけが更新時講習を受講することができます。

※詳しくは最寄りの警察又は、役場住民課（☎内線128）まで。

税務職員を募集！

札幌国税局では税務職員を募集しています。人事院が実施する国家公務員採用Ⅲ種試験（税務）に合格した者の中から採用されます。採用試験の概要は次のとおりです。

●受験資格　昭和49年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた方。
●受付期間　7月1日から7月8日まで
●第一時試験　9月11日（教養試験・適性試験及び作文）

※申込用紙の請求など詳しくは、根室税務署（☎01532-3-3261）まで。

かんぽ作文コンクール作品募集中！

郵便局では次代を担う小中学生を対象に“第33回かんぽ作文コンクール”の作品を募集してます。

応募資格は小学生5・6年及び中学生で「簡易保険に関係があるもの」と「家族って何だろう」の課題2点と「日頃考えていること」「思っていること」「感動したこと」などの自由題のいずれかを選んで応募してください。

また第27回手紙コンクールの作品も併せて募集しています。小中学生を対象に作品のテーマは自由。応募期間はいずれも6月30日までです。

※詳しくは、お近くの郵便局でお尋ねください。

営林署からのお願い

緑の季節となりました。山菜とり、魚釣り、森林浴などで国有林に入林される時は、次の事項を守っていただき、山火事防止、高山植物の保護、林道の交通安全にご協力ください。

1. 「たき火」や「マッチ、たばこの吸い殻の投げ捨て」は、絶対にやめましょう。
2. 高山植物を保護し盗採は絶対やめましょう。
3. 林道はカーブが多く、坂道、砂利道です。スピードは出し過ぎないよう、道路状態に合わせた安全運転に心がけましょう。
4. 落石や、路肩に寄り過ぎないよう充分注意し、車のすれ違いは、道路幅が狭いので、必ず待避所で行いましょう。
5. 通行禁止など入林規制をしている林道は危険ですので、絶対に入林はやめましょう。
6. 入林する場合は、営林署又は森林事務所に必ず入林届をしてから入林しましょう。

―標津営林署―

まちの声 98

『“友”遠方より来たる』

井南　進さん

（川北寿町）

＝㈱上田組に勤務＝

川北中学校を卒業したのが昭和四十一年（第十九期生）で、早いもので来年は三十周年を迎えようとしています。

三十年目のクラス会は、どこか温泉でも行って盛大にやろうか、またその時は、当時の小学校や中学校の先生を呼ぼうかなどと、話題になることもしばしばありました。

私たちの同級生は、男子では長男が割りと多いためか、川北在住者も多く、何事かある度に十二、三人の同級生はすぐ集まることができ、そのためか、しょっちゅうクラス会（？）をやっています。

特にクラス会をやろうと集まる訳ではないのですが、四、五人で酒を飲んでいるうちに「あいつを呼べ」「こいつも呼べ」と電話することになり十人ほど集まり、いつものクラス会が始まる訳で、たまたま会う人からは、『君たちはまたクラス会をやっているのか』と言われるような始末です。

何事もこのような訳であるから、遠くの町に住んでいる同級生が帰ってくると、「待ってました」とばかりに川北のたつみ食堂を中心とした連絡網により、町内はもとより中標津方面まで、「だれだれが来たから集まれ！」ということでまたクラス会が始まる訳です。

地元で時々会っている人たち同士では自分たちがあまり変ったことに気付かないが、何年ぶりかのなつかしい同級生の顔を見ると、すっかり四十過ぎの「おじさん」「おばさん」になっているのです。

それぞれの人生を感じさせるような風貌になっているが、やはりどこかに子供の頃の面影が残っています。会話も始めのうちは仕事や子供の話などですが、酒がすすむにつれ、小中学校時代のいたずらや、先生を困らせたり、怒られた話題は、三十年の歳月を一挙にタイムスリップさせ、一同大いに盛り上がる訳であります。

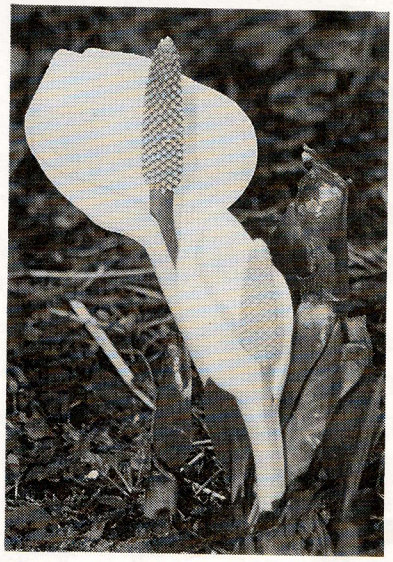
遠方から来た同級生や先生方に特別な歓迎をする訳でもなく、ただ一緒に酒を飲み騒いでいるだけですが、これが結構喜ばれているようで、後からお礼の電話が入るほどです。

生まれ育った川北と、いつでも温かく迎えてくれる同級生のいる標津のことを、いつまでも忘れることなく元気で暮らすようにと思いながら、遠方の同級生らにこの次に来た時も「ぜひ連絡をくれ、また一緒に酒を飲もう」と、再会を約束するのです。

＊次の「まちの声」は、井南さんが選んだ新川上町の佐藤純子さんです。

花シリーズ②

ミズバショウ〔サトイモ科〕（別名　ヘビノマクラ）



ポー川史跡自然公園内で撮影　＝5月15日＝

葉がバショウに似ているのでこの名がつきました。白い部分は葉の変形で苞（ほう）といい、花びらではありません。

編集の窓

▽五月号を発行してから、いろんな方に「広報良くなったね」「おもしろくなった」など、お世辞もあると思うが正直言ってうれしかった。

▽内容的には、まだまだ。とにかく、広報紙をつくるに当っては、お知らせ記事ばかりなんてつまんない。何か町民が興味のある記事をと、思っている。

▽しかし、時間との戦いが始まる。「時間よ止まれ！」と叫ぶが、止まってくれない。これが現実の厳しさなのか。

（ひ）

編集発行/標津町役場企画振興課広報統計係　標津町字標津3-5　☎2-2131　印刷/標津印刷株式会社